

のり養殖通報 第18報

千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議 令和2年4月21日発行

[気象・海況]

- 水温 16℃前後まで上昇しています(図1)。
- 栄養塩 窒素は、すべての漁場で基準値以上、含まれています(表1)。
リンは、富津ベタを除いて、基準値以下に低下しています。

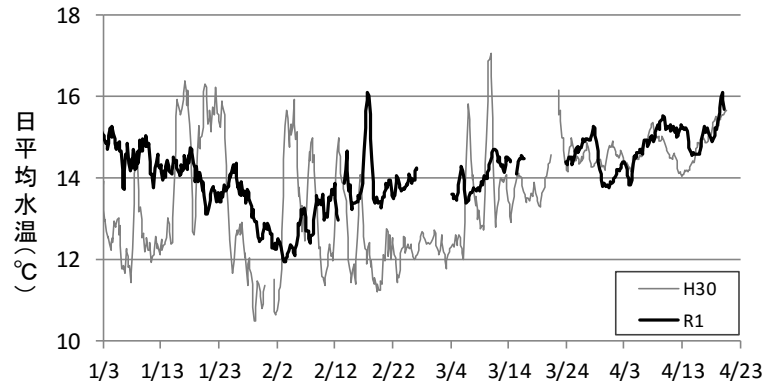


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

表1 水質調査結果(4/16~17 観測)

	窒素(μg/L)	リン(μg/L)
船橋	318	3
木更津北(BC)	278	4
木更津南(8)	255	3
富津ベタ	262	12
2海ほ下	224	4
大貫沖	202	1

[今後の留意点]

- 4/13, 18 にまとまった降雨と時化がありました。窒素は河川水の流入に伴い増加しましたが、残念ながらリンは維持程度の供給に止まりました。リンは、海域全体の濃度が低いため、今漁期中の回復は難しそうです。
- ノリの色調は、窒素が基準値以下に低下した場合、数日以内に退色が進みますが、リンの場合は窒素よりも影響は緩やかになります。
- 今漁期も残すところ数日になりましたが、最後まで気を抜かず、安全にはくれぐれも留意してください。
- 今漁期の生産は、「疑似しろぐされ症の蔓延」と「短縮化の発生区域の拡大と長期化」が大きな不作要因になりました。来漁期に向けて、短縮化に対する対策は、待ったなしの状況であるため、生産者、業界、行政で一丸となって検討し、早急に対策を実施していきたいと思います。